

平成22年度 決算報告書

国立大学法人 北見工業大学

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,464	2,464	0	
施設整備費補助金	0	0	0	
補助金等収入	46	61	15	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	19	18	△1	(注2)
自己収入	1,307	1,325	18	
授業料、入学料及び検定料収入	1,257	1,269	12	(注3)
雑収入	50	56	6	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	214	206	△8	(注5)
前中期目標期間繰越積立金取崩	0	186	186	(注6)
計	4,050	4,260	210	
支出				
業務費	3,148	3,127	△21	
教育研究経費	3,148	3,127	△21	(注7)
一般管理費	623	613	△10	(注8)
施設整備費	19	18	△1	(注9)
補助金等	46	61	15	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	214	193	△21	(注11)
計	4,050	4,012	△38	
収入-支出	0	248	248	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっています。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、交付金額の減額により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者及び在籍者の増加により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、主として地上権補償金及び受取利息の増加により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受入額の減少により、予算額に比して決算額が8百万円少額となっています。

(注6) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、積立金による事業を実施したことにより、予算に比して決算額が186百万円多額となっています。

(注7) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が21百万円少額となっています。

(注8) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。

(注9) 注2に示した理由により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。

(注10) 注1に示した理由により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっています。

(注11) 注5に示した理由により、予算額に比して決算額が21百万円少額となっています。

- 支出の教育研究経費には、損益計算書上の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、教員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。また、支出の一般管理費には、損益計算書上の一般管理費、役員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。